

2年 技術・家庭（技術分野） シラバス

1 技術・家庭（技術分野）の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成します。

2 教科における重点目標等

技術に必要な基礎・基本の知識及び技能を習得できるようにします。

習得した知識及び技能をもとに日常生活の中から問題を発見して課題を設定、解決に向けた話し合い活動を行い、計画、他者意見、実践し、さらに家庭や地域で実践できるようにします。

3 学力を向上させる方法

- (1) たくさん発表する機会を設け、自信をもって意見を言える雰囲気のある授業をつくります。難しく考えず、普段の生活を振り返りながら学習に取り組みましょう。
- (2) 理解を深めるために、実験や実習を取り入れた授業を行います。積極的に取り組みましょう。
- (3) 生活に密着した題材・生活に役立つ題材をもとに、楽しく授業を進めます。いつでもどんなことでも質問してください。

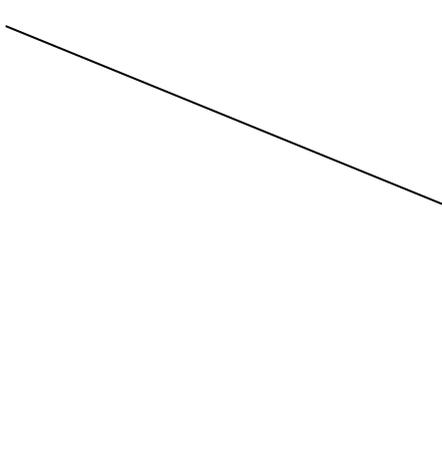
4 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
知識・技能	技術に関する基礎的・基本的な知識が身についているかを評価します。 生活に関する技能がしっかりと身についているかを評価します。	レポート、ノート・学習プリント、知識の習熟状況、定期テスト 作業・実習の様子、技能の習熟状況、完成作品
思考・判断・表現	生活をより良くしようとするものの見方や考え方ができているか、問題解決にむけた思考の過程やアイデアを評価します。	実習記録、計画・記録、既習事項の活用
主体的に学習に取り組む態度	技術に興味を持っているか、授業に真剣に積極的に取り組んでいるかを評価します。	作業や実習への取り組み、授業の様子、忘れ物、作品・ノート等の提出物

5 家庭学習の仕方

技術・家庭は、生活に密着した題材・生活に役立つ題材をもとに授業を進めます。自分の生活を振り返り、既習後は、生活の中で実践し習得しましょう。

6 年間学習予定

学期	単元名	学習のポイント
1学期 2学期 (10月)	<p>C. エネルギー変換の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ★生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 ★エネルギーの利用 ★エネルギー変換効率と省エネルギー ★電気エネルギーの特徴 ★機器の安全な利用と保守点検 ★力の伝達 ★エネルギー変換の技術と私たちの未来 <p>D. 情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ★情報モラルと知的財産 ★プログラムによる計測・制御 ★双方向性のあるコンテンツのプログラミング 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身につけようとする態度を育てます。 ・エネルギー資源の種類やエネルギーが利用されるまでの流れが分かるようにします。 ・自転車を例に動力伝達の仕組みを分かるようにします。 ・電気機器を製作することにより、工具・機械を安全かつ適切に使用できる能力を身につけます。 ・電気機器を製作後、不備等があった場合自分自身が進んで直せるようにします。回路計で導通試験・絶縁試験を行います。 ・持続可能な社会の実現に向けて、今あるエネルギー変換の技術を工夫して活用したり、新たなエネルギー変換の技術を創造したりしようとする態度を身に付けます。 ・情報を扱う際のルールやマナーなどのモラルの必要性を知ることができるようにします。 ・プレゼンテーション用ソフト（パワーポイント）を使い、製作のまとめを作れるようにします。 ・プログラミング学習により、問題解決をする能力を身につけます。
2学期 3学期 (11月)		<p>(家庭分野)</p>

※技術分野は以下の4つの内容を3年間で学習します。A. 材料と加工の技術 B. 生物育成の技術 C. エネルギー変換の技術 D. 情報の技術